様式第10号(第5条関係)

荒神谷博物館等に係る使用料等減免決定通知書

年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　様

出雲市長　　　　　　　　　　印

　下記のとおり使用料・観覧料を減免します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 利用(入館)日時 | 　　年　月　日(　曜日)　時　分から　　年　月　日(　曜日)　時　分まで | 日間 |
| 催物の名称 | 　 |
| 利用する施設等 | 　 |
| 利用目的(内容) | 　 |
| 利用責任者 | 住所氏名　　　　　　　　　　電話　(　) |
| 観覧者数 | 大人　　　　　　　人高校生・大学生　　人小学生・中学生　　人 | 計 | 人 |
| 減免を受けようとする理由 | 　 |
| 備　　　　　考 |  |
| 観覧料 | 観覧料 | 減免率 | 減免後の額 |
| 円 | ％ | 円 |
| 使用料 | 使用料 | 減免率 | 減免後の額 |
| 円 | ％ | 円 |
| 合計 | 円 |
| 承認条件 |

1　この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に、出雲市長に対して審査請求をすることができます。

2　処分の取消しの訴えについては、上記1の審査請求に対する裁決を経た後でなければ提起することができませんが、次のいずれかに該当する場合は、この裁決を経ずに訴訟を提起することができます。

⑴　審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。

⑵　処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。

⑶　その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。

なお、上記の場合の処分の取消しの訴えは、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、出雲市を被告として(訴訟において出雲市を代表する者は出雲市長となります。)、提起することができます。

3　ただし、上記の期間が経過する前に、この処分があった日の翌日から起算して1年を経過した場合は、審査請求をすることや処分の取消しの訴えを提起することはできなくなります。なお、正当な理由があるときは、上記の期間やこの処分があった日の翌日から起算して1年を経過した後であっても審査請求をすることや処分の取消しの訴えを提起することが認められる場合があります。